



令和 5(2023)年度 助成・褒章事業贈呈式 開催

【日時】 令和 6年(2024年)3月12日(火) 13:30~16:50 (贈呈式・受賞講演)

【場所】 ホソカワミクロン株式会社枚方本社本館 12階大会議室

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 1-9 (オンライン配信によるハイブリッド方式)

【主催】 公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団

【後援】 ホソカワミクロン株式会社

本贈呈式の開催は新型コロナウイルス感染などの諸事情から実に2019年以来5年ぶりとなり、また、今回は皆様の利便性を考慮し、初めて会場とオンラインでのハイブリッド開催となりました。

会場からは、今期募集を再開したホソカワ研究奨励賞を受賞された3名中2名の受賞者と、本助成事業の選考委員、当財団評議員・理事・幹事のほか、ホソカワミクロン(株)の関係者など30名程が参列しました。また、オンラインでは、研究助成・研究者育成援助並びにシンポジウム等開催援助の採択者の全員と一部当財団関係者も併せて35名程が参加されました。

本年度は、全体で120件の応募に対して、選考委員による厳正な審査の結果、KONA賞1件、研究奨励賞3件、研究助成19件、研究者育成援助5件およびシンポジウム等の開催援助2件が採択され、褒賞金・助成金の総額は2,400万円となりました。

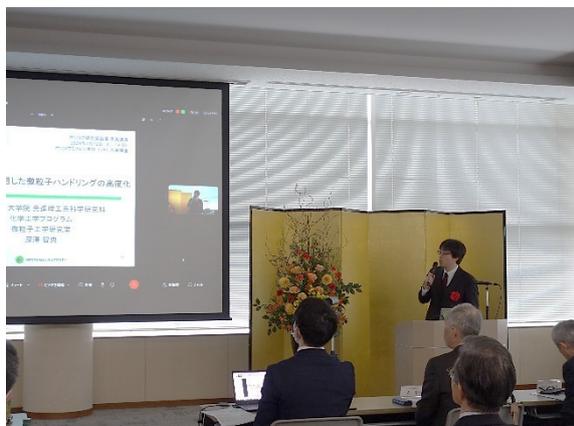
式典では、細川悦男理事長開会挨拶、内藤牧男常務理事の選考結果報告の後、受賞者に細川理事長より贈呈状が手渡されました。贈呈の際には採択者一人ひとりの所属および研究課題の紹介の後、各採択者から挨拶と今後の抱負などが述べられました。



贈呈式理事長挨拶



オンライン記念撮影風景



受賞講演風景



懇親会風景

続けて研究奨励賞の受賞者全員によって粉体工学に関する下記の興味深い受賞記念講演が行われました。

- | | |
|---|-------|
| ① 広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授
「界面特性に着目した微粒子ハンドリングの高度化」 | 深澤 智典 |
| ② 同志社大学理工学部 准教授
「界面現象を利用したアクティブマター系の創出に関する研究」 | 山本 大吾 |
| ③ 大阪大学大学院工学研究科 講師
「離散要素法における汎用粗視化モデルの開発」 | 鷲野 公彰 |

受賞講演の後、当財団の設立からこれまでの活動について、当財団前事務局長の横山豊和氏より、「財団設立からの30年の歩みのご紹介」と題して講演が行われました。最後に猪ノ木評議員による閉会挨拶の後、記念撮影と懇親会が行われ、盛会の内に、無事終了しました。

なお、KONA賞につきましては、去年に引き続きグローバルでの募集を実施し、KONA賞審査委員ならびに選考委員による厳正なる審査を行い、本年度はタイ国チュラロンコン大学ならびに東京工業大学の名誉教授であり、タイ国王室協会フェローでもあるSCG化学社技術顧問のProfessor Wiwut TANTHAPANICHAKOONが“Contributions to the Advancement of Powder/Particle and Aerosol Science and Technology & Promotion of Bilateral Collaboration between Thailand and Japan”の業績により受賞されました。KONA賞の贈呈式は、本年9月3日に大阪で開催される第56回粉体工学に関する講演討論会にて行われることになっています。



記念撮影風景-1



記念撮影風景-2